

晴れて大人の仲間入り 平成30年直方市成人式

1月7日、直方市成人式がユメニテイのおがたで開催されました。今回の新成人対象者は459人。真新しいスーツやあでやかな振り袖に身を包んだ新成人たちが、期待を胸に会場に集いました。



式典は、鞍手高校吹奏楽部の演奏で華やかな幕開けを飾りました。市内四中学校校歌のメドレーが演奏されると、場内は大盛り上がり。演奏後は壬生市長から「本日はおめでとうございます。実行委員を始めとする皆さんの努力のおかげで、愛情あふれる成人式になった。今後は、皆でルールをつくり、守っていかなければならない場面がたくさん出てくる。ぜひ頑張って、自分たちで道を切り開いてほしい」と激励しました。ほかにも会場に展示した書を作成した高校生からのメッセージ、垂れ幕を作成した谷尾美術館こどもスタッフからのメッセージ、中学校時代の恩師からの祝辞が贈られました。



鞍手高校 新春カルタ大会

1月5日、鞍手高校で新春カルタ大会(百人一首大会)が開かれました。この大会は昭和51年から始まり、開始当時はクラス選抜チーム同士の対戦でしたが、平成5年度からは1学年全員参加形式となり、今回は約240人の生徒たちが大会に臨みました。同じクラスの生徒4人が1チームを組み、2チームで対戦。上の句が詠み上げられると生徒たちは真剣な表情に切り替わり、次々と札を取っていききました。1年6組では、独自に語呂合わせを考案し、協力して句を覚えていったといひます。中川知佳さん(16)は「入学当初は全然百人一首を知らなかったけど、大会のことを聞いたときは楽しそうだと思いました。本番のこの大会でも成果が出ています」と話しました。

研ぎ澄まされた集中力と記憶力



直方市出身の甲子園出場選手による 野球教室

1月13日、市民球場と市体育館で、熊本県の秀岳館高校野球部で活躍した3年生の半情冬馬さん(18)による野球教室を開催しました。この教室は、一流選手の高い技術を体感した子どもたちが、スポーツへの関心をさらに深めることを目的として市が主催しています。半情さんは直方西小学校・直方第三中学校を経て秀岳館高校に進学し、平成28・29年の春夏の甲子園に4期連続で出場。この日は半情さんとともに甲子園で活躍した川端健斗さんも参加し、市内と近隣の少年野球7チームの約60人(小学4〜6年生)を指導しました。

ティーバッティングと守備練習では、球を打つときの目線や、捕球のために走り出すタイミング・足の出し方等について子どもたちにアドバイス。質疑の時間には「どうすれば肩が強くなるか」「バッティングで重要なことは何か」といった質問が飛び出しました。指導を終えた半情さんは「子どもが好きなのでとても楽しかった。大学進学が決まっているので、学業と野球を両立させ、プロを目指します」と笑顔を見せました。

憧れの甲子園出場選手がすぐそこに



地域の安全安心を守る 直方市消防出初式

1月14日、消防署下遠賀川河川敷で、消防出初式を行いました。寒空の下、多くの市民が見物に訪れていました。消防団員による分列行進から始まり、女性消防団員による太鼓演奏と、鞍手高校吹奏楽部によるマーチングが披露され、式に花を添えました。続いて、消防団員に対する各種表彰、最後に毎年恒例の「祝賀放水」が実施されました。たくさんの方の放水が行い、河川敷を鮮やかに彩りました。

色鮮やかな祝賀放水

